

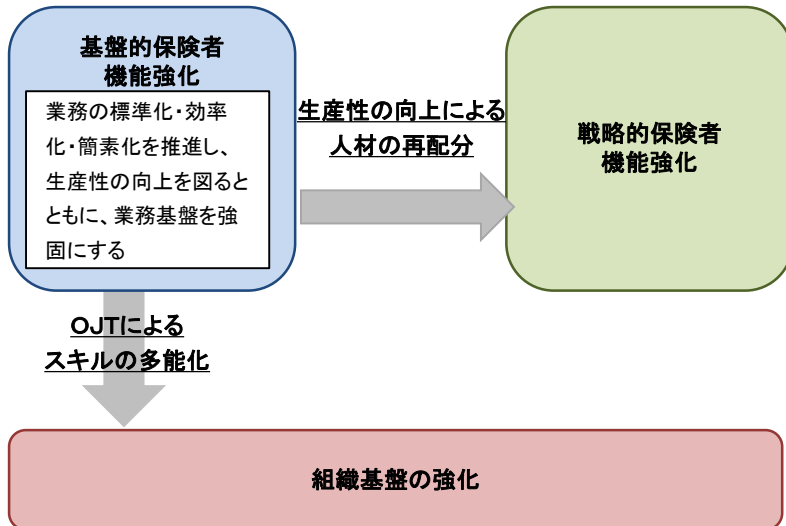
全国健康保険協会の次期システム構想における業務改革検討プロジェクトについて(概要)

- 現行の基幹業務システムは2022年末に更新期限を迎える。次期システムは開発工程を勘案すると少なくとも更新期限の4年前には構想検討に着手する必要がある。
- 次期システム構想検討の前提として健康保険業務の将来を見据えた組織体制の在り方と、その体制に最適なシステムの構想を検討する。については「業務改革推進室」を中心に「業務改革検討プロジェクト」を組成する。
- 「①支部の業務実態を調査・把握」、「②抜本的改革への課題抽出と将来像の検討」を実施することにより、次期システムの構築に資する業務部門のグランドデザインを策定する。

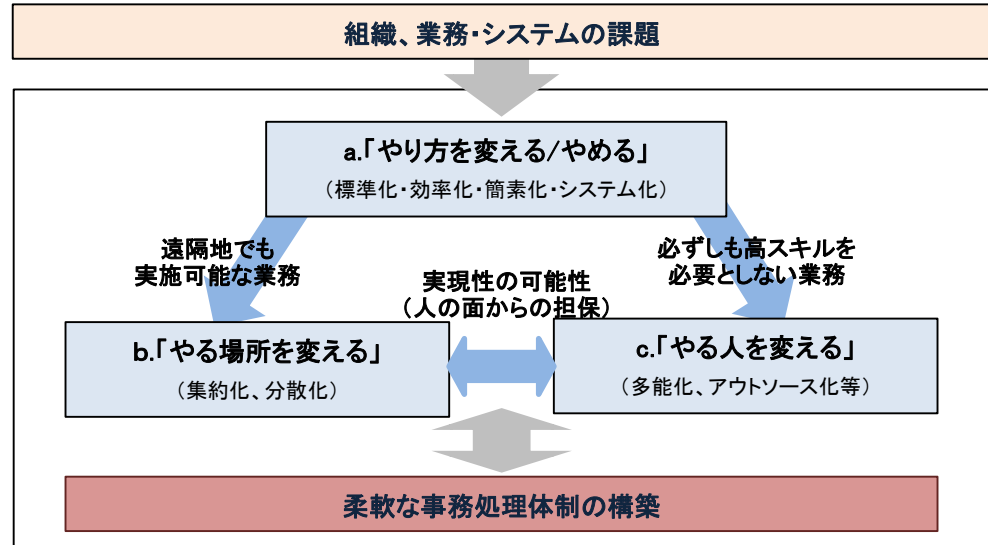
目的・意義

■「保険者機能強化アクションプラン(第4期)」の着実な遂行のため、「基盤的保険者機能強化」分野において、ICTを活用した効率的かつ効果的な業務処理体制及びその体制に最適な次期システムを構築し生産性の向上を図り「戦略的保険者機能の強化」へ軸足を移す組織・環境作りを進める。

■アクションプランにおける基本方針



■抜本的改革案検討の方向性



課題抽出と改革案の策定

業務実態の把握・課題の抽出

業務実態調査※により、現状の業務プロセスにおける『組織・体制』、『業務・システム』の課題を抽出

251件

※ プレ調査として3支部を訪問し、インタビューと現行の業務フローと業務実態の比較調査から、組織、業務・システムの課題を整理した。

また、本調査として47支部へのアンケート調査に加えて、4支部に訪問し、プレ調査で整理した課題のある作業について、全国的な傾向や地域性把握のための調査を実施し課題を精査した。

課題と改革案の整理

◎ 251件の課題を体系的に整理

◎ 整理した課題の対策として改革案を50件整理

◎ 次期システムの構想に向けて検討する改革案と業務プロセスの標準化等に向けて検討する改革案に分類

◎ 効果と実現難易度を検討の上、改革案の優先度を整理

改革案

次期システムの構想に向けて検討する改革案

(改革案の一例)

20件

現金給付審査の自動化

適用・徴収業務の自動化

事務処理工程管理機能の新設

業務プロセスの標準化等に向けて検討する改革案

(改革案の一例)

30件

審査事務手順書の見直し

あはき審査事務手順の標準化

資格・外傷業務の進捗管理の標準化